

第4回県北地区新設高等学校統合検討委員会

日時 令和4年11月10日(木) 14:00～

会場 岩手県立一戸高等学校 会議室

次第

- 1 開会
- 2 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ
- 3 報告
 - (1) 県北地区新設高等学校校名(案)について
 - ア 県教育委員会への報告について
 - イ 校名(案)の決定について
 - (2) 第4回統合課題検討小委員会
- 4 協議
 - (1) 教育内容について
 - (2) 校章について
 - (3) 校歌について
 - (4) 校訓について
 - (5) 制服について
 - (6) 部活動について
 - (7) その他
- 5 その他
- 6 閉会

県北地区新設高等学校統合検討委員会名簿

	氏 名	所 属	備 考
1	鳩岡 矩雄	二戸市教育委員会	
2	中嶋 敦	一戸町教育委員会	
3	生内 雄二	二戸市商工会	
4	中村 善雄	一戸町商工会	
5	筒井 裕一	二戸地区中学校校長会	二戸市立福岡中学校
6	佐々木由貴子	一戸町校長会	一戸町立一戸中学校
7	田家 亘	二戸市PTA連合会	二戸市立福岡中学校 PTA
8	田中 勝也	一戸町PTA連合会	一戸町立一戸中学校 PTA
9	中奥 孝宏	岩手県立福岡工業高等学校同窓会	
10	高村 正彦	岩手県立一戸高等学校同窓会	
11	小笠原定吉	岩手県立福岡工業高等学校 PTA	
12	佐藤 佳子	岩手県立一戸高等学校 PTA	
13	今野 雅之	岩手県立福岡工業高等学校	
14	上野 光久	岩手県立一戸高等学校	
15	佐々木正人	岩手県立福岡工業高等学校	
16	新田 剛史	岩手県立一戸高等学校	

3 報告

(1) 県北地区新設高等学校校名(案)について

ア 県教育委員会への報告について(P3)

イ 校名(案)の決定について

(2) 第4回統合課題検討小委員会

① 開催日時 令和4年10月26日(水) 16:00~16:50

② 開催場所 岩手県立一戸高等学校 第1応接室

③ 出席者 10名

④ 主な内容 第4回統合検討委員会に向けて検討事項確認

県北地区新設高等学校校名(案)について

県北地区新設高等学校は、専門分野に関する特色ある学科等の機能を有する高等学校として、県北地域において専門教育の拠点となり、地域産業等を支える人材の育成が期待されており、地域からの期待に応える学校を目指し以下の4案を選定した。

なお、4案の中での順位は付さないものとする。

校名(案) (ふりがな)	理由
岩手県立北桜高等学校 (いわてけんりつほくおうこうとうがっこう)	校名には、二戸市の花「山桜」と一戸町の花「桜」から桜の文字を入れ、県北の地で、次代を担う人材が開花することへの期待を込めた。
岩手県立誠北高等学校 (いわてけんりつせいほくおうこうとうがっこう)	校名には、両校の校訓・建学精神で共通する「誠実」を具現化し、地域課題を探究・解決する人材を育成することへの期待を込めた。
岩手県立北桜工科総合高等学校 (いわてけんりつほくおうこうかそうごうこうとうがっこう)	校名の文字から学びの内容がわかりやすく、また、二戸市の花「山桜」と一戸町の花「桜」が含まれ、県北の地で次代を担う人材が能力を開花させていくことへの期待を込めた。
岩手県立工科総合高等学校 (いわてけんりつこうかそうごうこうとうがっこう)	校名の文字から学びの内容がわかりやすく、県北で唯一の工業学科・総合学科の歴史と伝統を感じることができるシンプルな校名とし、工業の学びと総合の学びの連携による、幅広い産業人の育成に期待を込めた。

[参考] 統合検討委員会における意見について

- ・ 校名に「工業」等の学びの内容がわかる文字を入れることによって、高校生を採用する企業等にとってもわかりやすく、生徒にも有利になるのではないかと考える。
- ・ 二戸にとっては「工業」という名称に格別な想いがあり、二戸市民も、統合により工業高校の名称が消えることは寂しいと考えているが、将来の子ども達のために統合を了承したという経緯がある。統合校においては、二戸市民の熱い想いが込められている「工」の文字が反映されるような校名にしていただきたい。名称は多少長くなってもよいのではないかと考える。
- ・ 小委員会は各校の教職員で構成されており、生徒の思い等を最も理解していると考えられるので、小委員会が推す「北桜」や「誠北」のように、校名は学びの内容を表記しないシンプルなものの方がよいと考える。
- ・ 学びの内容については校舎名（工業校舎、総合校舎等）で表記する方法もあることから、校名には学びの内容を表記しなくてよいと考える。統合新設校における教育活動が充実し、生徒が活躍することによって、学びの内容が認知されていくようになることを期待する。

協議事項

- (1) 教育内容について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- (2) 校章について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- (3) 校歌について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- (4) 校訓（建学精神）について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- (5) 制服について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10
- (6) 部活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
- (7) その他

4 協議

教育内容について

○ 目指す方向性

地域社会や地域産業を支える工業学科の各学科及び総合学科の各系列をそれぞれ維持する。
また、統合新設高校においては、統合による農業、工業、商業、家庭、福祉及び芸術等の学びの連携、地域と協働した活動（共同研究、インターンシップ、探究活動等）の一層の充実を図り、地域の人材育成を担う。

新設校の学びについて

○工業学科

- 1 機械システム科
- 2 電気情報システム科

○総合学科

- 1 人文・自然系列
- 2 情報ビジネス系列
- 3 介護・福祉系列
- 4 生活・文化系列（家庭コース・芸術コース・農業コース）

<参考>学びの交流の具体案

授業・行事等	内容
総合的な探究の時間 総合実習	・両校舎、農場を活用し、農業、工業、商業、家庭、福祉、芸術等、様々な分野の体験学習
課題研究	・発表会の合同開催 ・農業と工業、福祉と工業等、両校の学びを活かした研究テーマの設定
文化祭	・生徒会の交流 ・両校舎のブース設置等
地域との交流	・地元で働く方々を、少人数グループ講話会の講師として依頼 ・シャッターアート ・小学生向け「夏休み工作教室」の開催

校章について

- 両校の生徒・保護者・教職員からデザインを募集し、地元ゆかりの業者に委託してデザイン化する。

作成方法

- 1 募集要項 7ページ参照
- 2 募集期間 令和4年11月16日(水)～12月16日(金)
- 3 応募対象 福岡工業高校・一戸高校の生徒、保護者、教職員
- 4 選定方法 統合課題検討小委員会において、応募された案から候補を選出し、第5回統合検討委員会において提案し、委員の皆様から意見をいただき、校章(案)を決定する。その後、地元業者に委託し、デザイン化する。

<参考>校章 デザイン例

- 「高」など漢字が入る校章



福岡工業高校



一戸高校



福岡高校

- 文字等が入らない校章



盛岡農業高校



遠野高校



釜石高校

岩手県立_____高等学校 校章募集要項（案）

県北地区新設高等学校 統合検討委員会

現在の福岡工業高等学校と一戸高等学校が統合し、令和6年4月から工業学科と総合学科を設置する岩手県立_____高等学校（仮称）として生まれ変わります。

この新しい高等学校にふさわしい校章を募集しますので、下記のとおりご応募ください。なお、応募いただいた校章は、統合検討委員会において校章を決定する際の参考とさせていただきます。また、採用の際はデザインの変更が伴うことがありますのでご了承ください。

記

- 1 募集期間 令和4年11月16日（水）～12月16日（金）
- 2 応募先 県北地区新設高等学校統合検討委員会事務局（学級担任を通じて応募してください）
- 3 応募方法 下の枠内に校章を記入してください。また、その校章の由来についても記入してください。別紙に記入し、この用紙を添付しての提出も可能です。

4 応募内容

校章	
校章の由来	

5 応募者

学校名	高校	学年組	年 組 番
氏 名 (保護者氏名)			

※保護者の方は、お子様が在籍する高校名・学年組を記入してください。

校歌について

- 新たな校歌を作成する。
福岡工業高校と一戸高校にゆかりのある方に依頼する。

依頼内容

- 1 納 期 令和5年10月（予定）
- 2 納品形式 作詞・作曲（ピアノ伴奏込み） 3番まで

校訓について

○ 誠実 進取 創造 とする。

提案理由

「誠実」は、両校に共通する校訓（建学精神）であり、福岡工業高校 58 年、一戸高校 111 年の伝統を支え、期待する生徒像を表すものである。地域には両校の卒業生が多数おり、地域にも浸透している校訓の一つである。誠実な心を育てたいとの思いを込めている。

「進取」は、困難な状況においても、果敢に挑戦する姿勢を示す。県北地域の課題解決に向けた意気込みを持ち、積極的に取り組む態度を示すものである。

「創造」は、福岡工業高校と一戸高校の統合により、両校の学びを融合・発展させ、県北地域を担う人材となり、そして未来を創り出す姿勢を表す。高校での学びを地域に還元するという思いを込めている。

以上から、育てたい生徒像として、「誠実」な心を育て、自ら進んで新しいことにチャレンジする「進取」の気性のある態度を育て、地域を「創造」できる人材を育てたい思いを込めた校訓である。

県北地区新設高等学校は、県北地域の専門教育の拠点となり、地域の人材を輩出することが求められている。校訓「誠実 進取 創造」は、新設高等学校に対する地域の期待を込めるとともに、誠実な心で、地域課題の克服に向けて積極的に取り組み、新しい未来を創り出す学校としての姿勢を示す。この校訓を学校づくりの方向性を示すものとして、教育目標やスクールポリシーに反映するものとする。

<参考>現在の両校の校訓（建学精神）について

福岡工業高校（建学精神）	誠実	希望	平和
一戸高校（校訓）	明朗	誠実	進取

制服について

- 生徒・職員の意見を参考にして新しい制服を作成し、令和6年度入学生から新しい制服を着用する。
(なお、令和5年度以前の福岡工業高校及び一戸高校の入学者は、統合後も現行の制服を着用する)

新制服選定の日程

1 基本方針検討（令和4年11月～令和5年3月）

- (1) 制服検討委員会
各校3名（生徒指導課、家庭科等教員、他）
- (2) 情報収集
生徒・保護者・教職員アンケート
近隣校やモデルチェンジした学校の制服調査
- (3) 新制服方向性の設定
制服メーカー選定方法の決定

2 制服メーカー選定（令和5年4月～5月）

- (1) 制服メーカーへの通達・説明会
- (2) プレゼンテーション実施
制服に関する機能
現物サンプルの確認
着心地、縫製仕様の確認
- (3) メーカー選考の決定と各業者への結果通知

3 制服デザイン選定（令和5年6月～8月）

- (1) 素材の選定
- (2) 冬服基本デザインの選定
- (3) 夏服基本デザインの選定
- (4) 付属・細部検討
- (5) 着用規則の検討

4 新制服発表（令和5年9月～12月）

- (1) 決定メーカーとの契約
- (2) 販売店の選考等

5 採寸・納品（令和6年3月～4月）

- (1) 新制服採寸
- (2) 納品・着用

<参考>現在の両校の制服について

○福岡工業高校と一戸高校の制服価格比較表

	福岡工業高等学校		一戸高等学校	
	男子	女子	男子	女子
制服一式	49,600円	97,290円	77,500円	77,000円
(大きめサイズ)	52,600円			

※夏服と冬服を合算、一戸高校のニットベスト(5,200円)は上記価格に含まない。

○福岡工業高校



○一戸高等学校



部活動について

- 各校に現在設置している、部活動は現状を維持する。
 下表の活動場所において活動し、校舎間の移動はスクールバスを利用する。

＜参考＞部活動の現状及び統合後の活動場所について

	部員数 部活動名	福岡工	一戸	福岡工	一戸			活動場所(予定)		備考
		男子		女子		男子計	女子計	福岡工	一戸	
運 動 部	硬式野球	19	8	—	1	27	1	グラウンド		女子はマネージャー
	男子バスケットボール	23	17	2	—	40	2	第一体育館		女子はマネージャー
	女子バスケットボール	—	—	—	13	—	13		第一体育館	
	男子卓球	23	9	—	—	32	—	第二体育館		
	女子卓球	—	—	0	8	—	8		第二体育館	
	男子弓道	21	—	—	—	21	—	弓道場		
	女子弓道	—	—	1	10	—	11		弓道場	
	男子バレーボール	—	14	—	—	14	—		第一体育館	
	女子バレーボール	—	—	—	18	—	18		第二体育館	
	剣道	—	1	—	0	1	0		柔剣道場	
	男子ソフトテニス	—	0	—	—	0	—		テニスコート	
	女子ソフトテニス	—	—	—	11	—	11		テニスコート	
	ソフトボール	—	—	—	8	—	8		グラウンド	
	なぎなた	—	3	—	5	3	5		土道館 (町施設)	
	柔道	14	0	—	0	14	0		柔道場	
サッカー	9	—	—	—	9	—		グラウンド		
テニス	10	—	—	—	10	—		テニスコート		
文 化 部	自然科学	—	5	—	6	5	6		校舎	
	吹奏楽	—	3	—	20	3	20		校舎	
	茶華道	—	0	—	20	0	20		校舎	
	書道	—	2	—	12	2	12		校舎	
	美術	—	2	—	16	2	16		校舎	
	華一	—	1	—	15	1	15		校舎	
	総合文化(かるた)	2	—	0	—	2	0		校舎	
	総合文化(旋盤)	8	—	0	—	8	0		機械棟	
	総合文化(電気工事)	4	—	0	—	4	0		電情棟	
総合文化(電子回路)	8	—	0	—	8	0		電情棟		
		141	65	3	164	206	167			

※部員数は今年度の所属者数、部員数欄の「0」は、部は設置しているが所属者はいないことを表す。

統合新設校の姿について

福岡工業高校

[機械システム科・電気情報システム科]

募集定員 80 名：2 学科 2 学級

専門教育を実践する
2 校の発展的統合

一戸高校

[総合学科]

募集定員 120 名：1 学科 3 学級

二戸ブロックにおける**専門教育を担う学校**の設置（令和6年度）

募集定員 200 人：5 学級校（工業学科 2 学級、総合学科 3 学級）

ブロック内の各専門分野に関する特色ある学科等の機能を維持した統合により、
地域の将来を見据えた専門教育の拠点となる学校として再編

- ・ 工業学科は、現行の機械と電気の学びを維持。
- ・ 総合学科は、現行の系列（人文・自然、情報ビジネス、生活・文化、介護・福祉）を維持。
- ・ 両校の校舎等を活用する「校舎制」を導入。
- ・ 「総合的な探究の時間」等を活用し、農業・工業・商業・家庭・福祉が連携した学びの交流・充実（工業学科・総合学科各系列の生徒が相互の学びを体験する等）。
- ・ 地元企業や団体と協力した学びの実践（地域にある多様な産業に関連し、6次産業化、高付加価値化への取組等）。
- ・ 同じ学校で、それぞれの分野を学んだ卒業生同士の連携による地域産業の振興。

県北地区新設高等学校統合検討委員会

1 統合課題検討小委員会

[福岡工業高校]

	氏名	校務分掌等
1	佐々木 正 人	副校長
2	浅 沼 卓 雄	事務長心得
3	三 浦 潤	総務主任
4	西 舘 智香子	教務主任
5	藤 島 努	生徒指導主事

[一戸高校]

	氏名	校務分掌等
1	新 田 剛 史	副校長
2	三 澤 剛	事務長
3	千 葉 圭 子	総務主任
4	稲 垣 真 紀	教務主任
5	及 川 涉	生徒指導主事

2 教育内容検討小委員会

[福岡工業高校]

	氏名	校務分掌等
1	佐々木 正 人	副校長
2	浅 沼 卓 雄	事務長心得
3	三 浦 潤	総務主任
4	西 舘 智香子	教務主任
5	藤 島 努	生徒指導主事
6	阿 部 仁 志	進路指導主事
7	寒河江 みちる	保健主事
8	杉 山 元 基	機械システム科主任
9	佐々木 正 勝	電気情報システム科主任

[一戸高校]

	氏名	校務分掌等
1	新 田 剛 史	副校長
2	三 澤 剛	事務長
3	千 葉 圭 子	総務主任
4	稲 垣 真 紀	教務主任
5	及 川 涉	生徒指導主事
6	高 橋 優 子	進路指導主事・情報ビジネス系列(商業)
7	佐々木 整	厚生主任
8	大 矢 晃 子	総合学科推進課主任・生活・文化系列(家庭)
9	岩 間 裕	人文・自然系列・(地歴・公民)
10	阿 部 也寸志	介護・福祉系列(福祉)
11	工 藤 峰 生	生活・文化系列(農業)
12	三 船 桂 子	生活・文化系列(芸術)

県北地区新設高等学校 統合検討委員会等に関するスケジュール

回	開催時期	検討内容
第1回	令和4年 7月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・計画についての経過報告 ・委員の委嘱 ・委員長及び副委員長の選出 ・統合検討委員会設置運営要綱について ・統合までのスケジュール等の確認 ・主な検討事項 ・校名（案）の検討（決定方法について） ・校舎制について
第2回	令和4年 9月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・校名（案）の検討（校名候補の決定） ・教育内容の検討① ・校章、校歌、校訓、制服等について①
第3回	令和4年 10月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・校名（案）の検討（校名候補の決定）
第4回	令和4年 11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の検討② ・校章、校歌、校訓、制服等について②（案の提示） ・部活動について①
第5回	令和5年 2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・校章、校歌、校訓、制服等の決定について ・部活動について②
第6回 (予備)	令和5年 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・細部の確認 ・その他